

児童養護施設(ベトレーム学園)の運営

【定員】

定員57名(本園45名、地域小規模12名) 平成31年4月～令和2年3月

【年間利用状況】(月初在籍人員)＜地域小規模＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	80
小学生	14 <5>	14 <5>	14 <5>	14 <5>	14 <5>	15 <5>	14 <5>	14 <5>	15 <5>	15 <5>	15 <5>	15 <5>	173 <60>
中学生	8 <4>	7 <4>	8 <4>	8 <4>	8 <4>	9 <4>	10 <4>	10 <4>	10 <4>	10 <4>	10 <4>	10 <4>	108 <48>
高校生	9 <3>	9 <3>	10 <3>	10 <3>	9 <3>	9 <3>	9 <3>	9 <3>	9 <3>	9 <3>	9 <3>	9 <3>	110 <36>
措置延長	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8
停止		1											1
合計	39 <12>	40 <12>	39 <12>	40 <12>	38 <12>	40 <12>	40 <12>	40 <12>	41 <12>	41 <12>	41 <12>	41 <12>	480 <144>

【施設運営状況】

- ・重点目標の「子どもの希望がかなう場所」「みんなが居心地の良い職場」を継続した。
- ・「居心地の良い職場＝働きやすい職場」作りのために、働き方委員会を継続し、特に「職員のやりがい」「より良いコミュニケーション」について、的を絞って職員でディスカッションを行う等した。
- ・時間単位で有給休暇が取得できるようになり、利用する職員が多く、休日取得に関する満足度は上昇していたが、部署やユニットによって差があった。衛生委員会でも取り組んだが、今後も課題とする。
- ・職員の満足度について、今年もアンケートを行ったが、給与に関する満足度は昨年度とあまり変わらず、「処遇改善より基本給が上がってほしい」「長く務めるほど給与が上がらないのは変わらないから」という意見があった。
- ・次年度採用職員よりも退職者の方が多く、退所児童も多かったことから、ユニットを2つ閉鎖するスタートとなる見込みである。

【利用者支援状況】

- ・子どもの希望をかなえる取り組みに関しては、自立支援計画書作成時の聞き取りシート等を活用することを職員に浸透させた。日常的に傾聴することは、次年度も課題とする。
- ・子どもの意見を聞く場としては、子ども自治会が有効であるが、まだ活発に機能していないのが現状なので、次年度の課題とする。
- ・挨拶に関しては、バレーボールのグループワーク時に熱心に行っていて、試合等の際に積極的に挨拶する姿が見られた。しかし、それ以外では、自ら挨拶出来ない児童が目立つので、引き続き重点目標とする。
- ・高校進学や、卒園時の進路については、子どもの希望を聞きながら出来るだけ最善と思われるところを模索した。
- ・入所 5名
- ・退所 <家庭復帰> 2名
<自立> 6名
- ・一時保護受け入れ... 5名

【地域との連携】

- ・白梅自治会とは、7月27日納涼大会の共催、11月3日どんぐり祭への協力、2月2日合同防災訓

練を行うことができた。

- ・清瀬市社会福祉法人でつくる地域貢献ネットワークに参加した。
- ・地域交流ホールの貸し出しは、6月～12月の毎週水曜日に清瀬市の介護予防事業に、週2回空手教室へ、昨年度同様行った他、2月からは毎週金曜日に、地域自治会介護予防教室へも行うこととなった。
- ・子育て支援に関する地域貢献は、ナザレットの家と一緒に情報収集を行うことは出来たが、目指していたカフェの開催にまでは至らなかった。次年度の課題とする。

【職員の質の向上】

- ・三多摩地区の3施設と合同で、リーダーシップに関する研修を、月に1回6回行ったが、参加した職員が他施設の状況を知る機会となったり、自分の意見を発表したり、他参加者の発表を聴くことが良い経験になっていた。また、自分の強み・弱みを知る機会ともなっていたので、今後も続けて行かれたらと考える。

【施設・設備整備】

(単位:千円)

工 事		備品購入等	
件 名	金 額	件 名	金 額
2年目点検で発生した補修等11件	1,200	車	1,718
		放送設備	638

注:工事は1件100万円以上、物品購入等は1件10万